

## 別紙 【発表概要】

### 消費者の笑顔が原動力！！

#### ～天然マガキ等活用 「カキ小屋 美味星」の歩み～

北村 俊雄(美味星有志の会)

#### 1 活動取組の動機

- ・消費者と接する取組として、平成 15 年から 10 年間、自分たちが獲ってきた漁獲物を消費者に対面販売する月 1 回の「昼市」を行ってきた中で、さらに消費者に喜んでもらえ、地元漁業者の収入向上にもつながる取組ができないかと皆で相談し、地元豊富にある天然マガキを有効活用するカキ小屋を平成 26 年 1 月から開始した。

#### 2 実践活動の状況

##### (1) カキ小屋「美味星（おいすたあ）」の取組

- ・12 月から翌年 3 月までの土・日・祝日に完全予約制として営業している。
- ・私たちは利用者とのコミュニケーションが大切であると考え、漁業者スタッフ自らが利用客の目の前で殻開けサービスを行うとともに、利用者の要望や意見を多く取り入れ、サイドメニューの充実や、ポイントカードの発行により、利用促進につながるよう工夫した。
- ・運営においては、メンバー等が漁獲したカキ、アワビ、サザエ等を固定価格で会が買い取り、営業に参加したメンバーには、人件費を支払っている。

##### (2) 海鮮バーベキューの取組

- ・冬の営業に加え、夏の行楽シーズンの来客を見込んで、平成 27 年から舞鶴湾の夏の特産品である「丹後の海育成岩がき」を主体とした海鮮バーベキューの取組をカキ小屋の横に専用コーナーを設け開始した。

##### (3) 利用者の状況と表彰受賞

- ・集客範囲は、京阪神の他、遠くは中部、北陸、中国地方まで拡大した。
- ・私たちの取組は、地元消費者と食材との接点になっていることや、水産物の消費拡大に貢献し、持続性のある取組であることから、6 次産業化の優良活動事例として評価を受け、国産の食品や農林水産物の消費拡大に向けて優れた取組を表彰する、農林水産省の「令和元年度地産地消等優良活動表彰」において、近畿農政局長賞を受賞することができた。

#### 3 活動成果および今後の活動計画

##### (1) カキ小屋及び海鮮バーベキューの実績

- ・平成 26 年 1 月から営業を本格的に開始し、初年度に約 3,000 人の利用客と順調なスタートを切ることができ、海鮮バーベキューを追加した 2 年目からも利用者数が順調に増加している。
- ・直近 3 カ年（平成 29 年度から令和元年度）の実績として、利用者数は、平成 29 年度が 6,000 人、30 年度が 4,800 人、令和元年度が 5,500 人、売上金額は、平成 29 年度が 2,255 万円、30 年度が 2,049 万円、令和元年度が 2,321 万円であった。

##### (2) 今後の計画

- ・天然マガキのおいしさの PR に力を入れて、利用者数を増加させていく。
- ・所得向上を目指し、地元の低利用資源の有効活用を推進していく。
- ・地元農業者との連携を強化して、地域の農産物も各種活用しつつ、地域の魅力ある食材やおいしい食べ方の情報発信、PR に努めて、舞鶴での地産地消の一層の推進に貢献していく。